2024 年 5 月 30 日

Press Release

そごう美術館

「ヨシタケシンスケ展かもしれない」のイメージ　©Shinsuke Yoshitake
広報画像 No.2

『りんごかもしれない』
ブロンズ新社
2013 年
©Shinsuke Yoshitake
広報画像 No.14

「かもしれない」で広がる世界

『りんごかもしれない』は、どこにでもあるひとつのりんごから想像をふくらませて、視点を変えたり、考えたりすることの楽しさを教えてくれました。
「ヨシタケシンスケ展かもしれない」を見終わったあとには、いつものなにげなく見ているものの見方がちょっぴり変わっているかもしれません。

＼ヨシタケシンスケ　初の大規模展覧会！／

絵本作家としてのデビュー作『りんごかもしれない』（2013 年）以降、子どもから大人まで大ブームを巻き起こしているヨシタケシンスケ。
頭のなかに広がる果てしない妄想やアイデア、クスッと笑える人のクセやしぐさ、世界の真理をつくようなものの見方を細いペン先で描き続け、多くの人々をひきつけています。

ヨシタケさんは絵本を出版する以前から、イラストレーター、造形作家として活躍してきました。
初の大規模個展となる本展では、作家の発想の源である小さなスケッチや絵本原画、本展のためにヨシタケさんが考案した立体物や愛蔵のコレクションなど約 400 点以上を展示し、作家の「頭のなか」をのぞいてみます。
発想の豊かさに支えられたヨシタケさんの「かもしれない」展示空間を、ぜひご体感ください。

プレス内覧会（事前申込制）

開催日時　2024 年 7 月 22 日（月）　午後 2 時～4 時　（予定）

※内容・お申し込み方法など、詳細は決まり次第、あらためてご案内させていただきます。

■開催概要

展覧会メインビジュアル
©Shinsuke Yoshitake
広報画像 No.1

展覧会名　ヨシタケシンスケ展かもしれない

会　　期　2024 年 7 月 23 日（火）→ 9 月 2 日（月）＊会期中無休

開館時間　午前 10 時～午後 8 時　（入館は閉館の 30 分前まで）
※そごう横浜店の営業時間に準じ、変更になる場合がございます。

会　　場　そごう美術館（横浜駅東口・そごう横浜店 6 階）
〒220-8510　横浜市西区高島 2-18-1
電話 045（465）5515[美術館直通]

入 館 料　事前予約不要
(税込)　一　般　　1,400（1,200）円
大学・高校生　1,200（1,000）円
中学生以下無料

＊公式オンラインチケット(e-tix)では、いつでも(　)内の料金にてお求めいただけます。〈販売開始：7 月 8 日(月)午前 10 時〉
オンラインチケット　https://www.e-tix.jp/sogo-seibu_yoshitake-ten_yokohama/
＊6 階＝ミュージアムショップでは、7 月 8 日(月)から 22 日(月)まで（　）内の料金にて前売券を販売しております。
＊会期中、クラブ・オン／ミレニアムカード、クラブ・オン／ミレニアム アプリをそごう美術館チケット売場にご提示の方は、（　）内の料金にてお求めいただけます。
＊障がい者手帳各種をお持ちの方、およびご同伴者 1 名さまは無料でご入館いただけます。
＊混雑時は入場制限および入館券の販売を中止する場合がございます。

企画チケット　期間限定販売　オンライン販売
「8 月 13 日（火）～16 日（金）を除く平日限定オンラインチケット」
販売期間　6 月 15 日(土)～7 月 7 日(日)
特別料金(税込)　一般 1,100 円、大学・高校生 900 円
注意：土曜・日曜・祝日および 8 月 13 日(火)~16(金)は使用不可。変更・払い戻し不可。

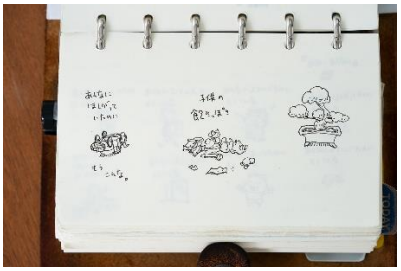
主　　催　そごう美術館、神奈川新聞社、朝日新聞社、白泉社
後　　援　神奈川県教育委員会、横浜市教育委員会
協　　力　アリス館、PHP 研究所、ブロンズ新社、ポプラ社
横浜会場協賛　㈱そごう・西武
グラフィックデザイン：大島依提亜　/　会場構成：五十嵐瑠衣

＊ご入館前にそごう美術館ホームページおよび会場入口掲示の「ご入館の際のお願い」をご確認ください。
＊展覧会・イベントの中止や延期、一部内容が変更になる場合がございます。
＊最新情報は、そごう横浜店・そごう美術館ホームページをご確認ください。

▶「ヨシタケシンスケ展かもしれない」 公式サイト https://yoshitake-ten.exhibit.jp/
▶そごう美術館　HP　https://www.sogo-seibu.jp/common/museum/　X（旧 Twitter）@sogomuseum
▶公式オンラインチケット（e-tix）　https://www.e-tix.jp/sogo-seibu_yoshitake-ten_yokohama/

■発想の源を探るスケッチ約 2,500 枚を大公開

ヨシタケさんが絵本作家デビュー以前から、日々描きためてきたスケッチの数々。小さな手帳の中に、ヨシタケさんの発想の源ともいえる、果てしない妄想やアイデア、そして世界の見方がつまっています。本展では、1 万枚を超える膨大なスケッチの中から約 2,500 枚を複製し一挙に公開。過去最大規模で、ヨシタケさんの「頭のなか」をご覧ください。



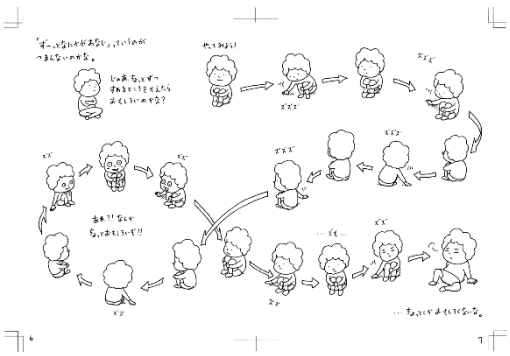
愛用の手帳（『あんなに あんなに』スケッチ） 撮影：野澤亘伸　©Shinsuke Yoshitake
広報画像（左＝No.11）（右＝No.12）

『あんなに あんなに』ポプラ社 2021 年
©Shinsuke Yoshitake
広報画像 No.17

■絵本の世界を体感できる仕掛けが盛り沢山

デビュー作『りんごかもしれない』をはじめ、『つまんない つまんない』『なつみはなんにでもなれる』など約 20 作の人気絵本から、原画や構想段階のアイデアスケッチなどを多数紹介します。ヨシタケさんのアイデアから生まれた、作品の世界に入り込んだような体験展示もご用意。大人も子どもも体と心を動かして楽しめます。

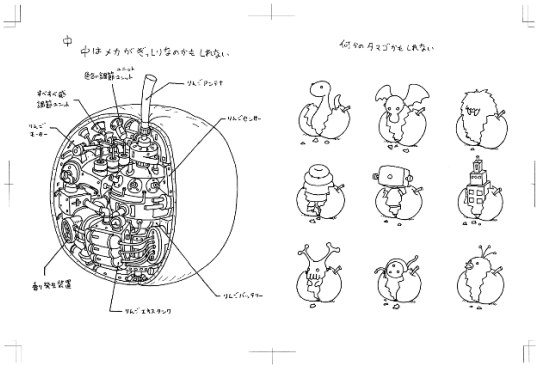
『つまんない つまんない』白泉社 2017 年
©Shinsuke Yoshitake
広報画像 No.16



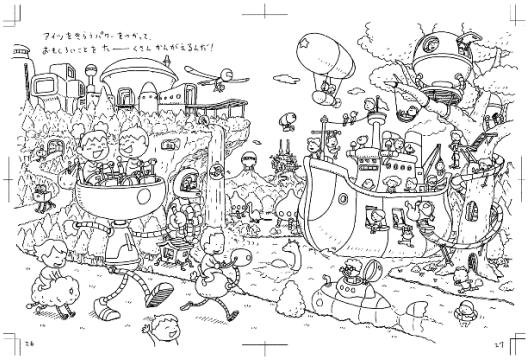
『つまんない つまんない』
原画
©Shinsuke Yoshitake
広報画像 No.7

『なつみはなんにでもなれる』ＰＨＰ研究所 2016 年
©Shinsuke Yoshitake
広報画像 No.15

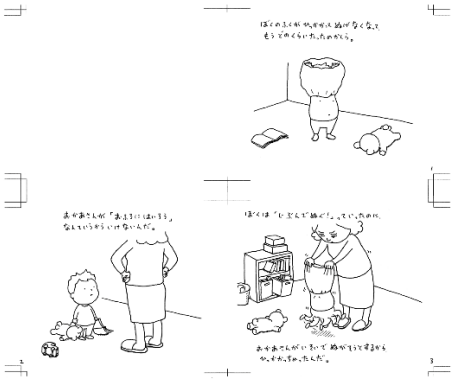
『なつみはなんにでもなれる』
アイデアスケッチ
©Shinsuke Yoshitake
広報画像 No.10



『りんごかもしれない』原画　©Shinsuke Yoshitake
広報画像 No.5



『ころべばいのに』原画　©Shinsuke Yoshitake
広報画像 No.9



『もう ぬげない』原画　©Shinsuke Yoshitake
広報画像 No.6

『おしっこちょっぴりもれたろう』原画
©Shinsuke Yoshitake
広報画像 No.8

■出品数 400 点以上！ヨシタケシンスケの謎を解き明かそう

絵本を出版する以前から、イラストレーターや造形作家として活躍してきたヨシタケさん。その独自の発想がどこからやってくるのか、学生時代の立体作品や、アトリエに保管されていた貴重な私物コレクションから、インスピレーションの源を探ります。ヨシタケさんが 1990 年代に制作した「カブリモノシリーズ」という立体作品は、1997 年にそごう横浜店 9 階市民フロアで展示されました。その当時の作品の一部を本展でもご覧いただけます。

《ぶくぶく観音》
撮影：加藤新作
©Shinsuke Yoshitake
広報画像 No.4

カブリモノシリーズ《ACcess100》
撮影：三橋純
©Shinsuke Yoshitake
広報画像 No.3

■プロフィール

ヨシタケシンスケ

撮影／黒澤義教
広報画像 No.13

1973 年神奈川県生まれ。筑波大学大学院芸術研究科総合造形コース修了。2013 年に初の絵本『りんごかもしれない』（ブロンズ新社）を出版。これまで『りんごかもしれない』『もう ぬげない』（ブロンズ新社）『りゆうがあります』『なつみはなんにでもなれる』『おしっこちょっぴりもれたろう』（ＰＨＰ研究所）『あつかったら ぬげばいい』（白泉社）『あんなに あんなに』（ポプラ社） で７度にわたり MOE 絵本屋さん大賞第１位に輝く。『りんごかもしれない』で、第 61 回産経児童出版文化賞美術賞、『つまんない つまんない』（白泉社）の英語版『The Boring Book』で、2019 年ニューヨーク・タイムズ最優秀絵本賞受賞。

■図録・グッズ

『ヨシタケシンスケ展かもしれない　公式図録　こっちだったかもしれない』

展覧会公式図録は、ヨシタケシンスケ自身が描き下ろしたコンテンツを豊富に収録。絵本のためのラフやアイデア、絵本原画をはじめ、展覧会のために描いた未公開スケッチを 1000 点以上収録。さらに、展覧会オリジナルグッズを自ら考案したスケッチは 170 点以上に。展覧会の裏話を含む 5500 字インタビューや、絵本作家デビューから 10 年の軌跡をたどる専門家による絵本論も必読です。

定価 2,970 円（本体 2,700 円+税）
B6 判変型（W117×H163×D42mm）　496 ページ
アートディレクション／大島依提亜　撮影／加藤新作　発行／白泉社
©Shinsuke Yoshitake

『ヨシタケシンスケ展かもしれない 公式図録
こっちだったかもしれない』
定価 2,970 円（本体 2,700 円＋税）
©Shinsuke Yoshitake
広報画像 No.18

●展覧会オリジナルグッズを多数取り揃えております。

「アイツ」のぬいぐるみ
Ｓサイズ 2,530 円（税込）
広報画像 No.19

ミニトート
各種 3,300 円（税込）
広報画像 No.20

甘いもので頭がいっぱい 巾着
（ラムネ入り）
各種 1,650 円（税込）
広報画像 No.21

＊6 階＝ミュージアムショップにてお取り扱いしております。

＊写真と実物では色・デザイン・素材感が異なる場合がございます。あらかじめご了承ください。

＊購入制限をさせていただく場合がございます。数量に限りのあるものもございますので、品切れの際にはご容赦ください。

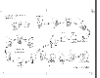
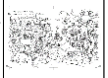
■広報画像

① ARTPR に登録・お申し込みいただき、注意事項ご確認の上、データを入手ください。
ARTPR https://www.artpr.jp/sogomuseum

② 画像使用の際は、指定のクレジット、キャプションを必ず記載ください。
各画像の使用上の注意点を以下の表に記しておりますのでご確認ください。

③ 校正原稿は以下 **2 名宛に同時に**送付ください。
そごう美術館 ：二宮 kazue-ninomiya@sogo-seibu.co.jp
：三瓶 hiroyuki-sampei@sogo-seibu.co.jp

●ヨシタケシンスケ展かもしれない そごう美術館 広報画像 詳細一覧

No.	画像	キャプション	備考	クレジット	種類
画像No. 1		展覧会メインビジュアル	枠線追加OK。	©Shinsuke Yoshitake	展覧会のための描き下ろし
画像No. 2		「ヨシタケシンスケ展かもしれない」のイメージ		©Shinsuke Yoshitake	展覧会のための描き下ろし
画像No. 3		カブリモノシリーズ《ACcess100》 撮影：三橋純		©Shinsuke Yoshitake	学生時代の作品
画像No. 4		《ぶくぶく観音》 撮影：加藤新作		©Shinsuke Yoshitake	学生時代の作品
画像No. 5		『りんごかもしれない』原画	片面での掲載OK。 片面のキャプションは『りんごかもしれない』原画（部分）。両面の場合はトンボとノンブルまで入れる。	©Shinsuke Yoshitake	原画
画像No. 6		『もう ぬげない』原画	もう（半角アキ）ぬげない トンボとノンブルまで入れる。	©Shinsuke Yoshitake	原画
画像No. 7		『つまんない つまんない』原画	つまんない（半角アキ）つまんない トンボとノンブルまで入れる。	©Shinsuke Yoshitake	原画
画像No. 8		『おしっこちょっぴりもれたろう』原画	トンボとノンブルまで入れる。	©Shinsuke Yoshitake	原画
画像No. 9		『ころべばいいのに』原画	トンボとノンブルまで入れる。	©Shinsuke Yoshitake	原画
画像No. 10		『なつみはなんにでもなれる』アイデアスケッチ	枠線追加OK。紙色を敷いてもOK。	©Shinsuke Yoshitake	アイデアスケッチ
画像No. 11		愛用の手帳（『あんなに あんなに』スケッチ） 撮影：野澤亘伸	あんなに（半角アキ）あんなに	©Shinsuke Yoshitake	6穴スケッチ
画像No. 12		愛用の手帳（『あんなに あんなに』スケッチ） 撮影：野澤亘伸	あんなに（半角アキ）あんなに	©Shinsuke Yoshitake	6穴スケッチ

No.	画像	キャプション	備考	クレジット	種類
画像No. 13		撮影／黒澤義教			プロフィール写真
画像No. 14		『りんごかもしれない』ブロンズ新社 2013年		©Shinsuke Yoshitake	書影
画像No. 15		『なつみはなんにでもなれる』ＰＨＰ研究所 2016年	ＰＨＰ（＝大文字）	©Shinsuke Yoshitake	書影
画像No. 16		『つまんない つまんない』白泉社 2017年	つまんない（半角アキ）つまんない	©Shinsuke Yoshitake	書影
画像No. 17		『あんなに あんなに』ポプラ社 2021年	あんなに（半角アキ）あんなに	©Shinsuke Yoshitake	書影
画像No. 18		『ヨシタケシンスケ展かもしれない 公式図録 こっちだったかもしれない』 定価2,970円（本体2,700円＋税）		©Shinsuke Yoshitake	書影
画像No. 19		「アイツ」のぬいぐるみ Sサイズ 2,530円（税込）			グッズ
画像No. 20		ミニトート 各種　3,300円（税込）			グッズ
画像No. 21		甘いもので頭がいっぱい 巾着（ラムネ入り） 各種　1,650円（税込）			グッズ

●東京会場写真

No.	画像	キャプション	備考	クレジット	種類
画像No. 22		※写真は東京会場のようすです 撮影：黒澤義教	東京会場・撮影者に関する、左記すべてのキャプションを入れる。		
画像No. 23		※写真は東京会場のようすです 撮影：黒澤義教	東京会場・撮影者に関する、左記すべてのキャプションを入れる。		
画像No. 24		※写真は東京会場のようすです 撮影：黒澤義教	東京会場・撮影者に関する、左記すべてのキャプションを入れる。		

■展覧会紹介文

① フルバージョン

ヨシタケシンスケ　初の大規模展覧会開催！

絵本作家としてのデビュー作『りんごかもしれない』（2013 年）以降、子どもから大人まで大ブームを巻き起こしているヨシタケシンスケ。
頭のなかに広がる果てしない妄想やアイデア、クスッと笑える人のクセやしぐさ、世界の真理をつくようなものの見方を細いペン先で描き続け、多くの人々をひきつけています。

ヨシタケさんは絵本を出版する以前から、イラストレーター、造形作家として活躍してきました。
初の大規模個展となる本展では、作家の発想の源である小さなスケッチや絵本原画、本展のためにヨシタケさんが考案した立体物や愛蔵のコレクションなど約 400 点以上を展示し、作家の「頭のなか」をのぞいてみます。
発想の豊かさに支えられたヨシタケさんの「かもしれない」展示空間を、ぜひご体感ください。

②

絵本作家としてのデビュー作『りんごかもしれない』（2013 年）以降、大ブームを巻き起こしているヨシタケシンスケ。頭のなかに広がるアイデアや、クスッと笑える人のクセやしぐさなどを描き続け、人々をひきつけています。
初の大規模個展となる本展では、作家の発想の源であるスケッチや絵本原画、本展のためにヨシタケさんが考案した立体物など約 400 点以上を展示し、作家の「頭のなか」をのぞいてみます。
発想の豊かさに支えられた展示空間を、ぜひご体感ください。

③

頭のなかに広がるアイデアや、クスッと笑える人のクセやしぐさなどを描き続け、人々をひきつけている絵本作家ヨシタケシンスケ。初の大規模個展となる本展では、作家の発想の源であるスケッチや絵本原画など約 400 点以上を展示します。

■本展のお問い合わせ

そごう美術館　〒220-8510 神奈川県横浜市西区高島 2-18-1　Tel. 045-465-5515 / Fax. 045-465-2298
担当：二宮（kazue-ninomiya@sogo-seibu.co.jp）　三瓶（hiroyuki-sampei@sogo-seibu.co.jp）